

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/不動産投信(リート)								
信託期間	2012年8月31日から2022年4月20日まで								
運用方針	安定した配当収入の確保と中長期的な値上が り益の獲得を目指して運用を行います。								
主要運用対象	外国投資信託証券である「クレディマン通」 ス・ユニバーサル・トラスト(ケケド(信託・アムフ・アム・クラス)」がです。 ファム・クラス・プール・なず・ファンを主要投資対象とし場合があります。 「T&Dマネープールなおます。 クレディー・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カート・カー								
	プールマザー 融商品を主要投資対象としまファンド す。								
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。								
分配方針									

あります。

米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース

運用報告書(全体版)(第17作成期)

第 95 期 (2020年8月20日) 第 98 期 (2020年11月20日) 第 96 期 (2020年9月23日) 第 99 期 (2020年12月21日) 第 97 期 (2020年10月20日) 第100期 (2021年1月20日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。 さて、「米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース」は、2021年1月20日に第 100期決算を行いましたので、第95期から第100期の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上 げます。



▶ T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝 5-36-7

お問い合わせ先 投信営業部 03-6722-4810

(受付時間:営業日の午前9時~午後5時) https://www.tdasset.co.jp/

最近5作成期の運用実績、基準価額の推移等

最近5作成期の運用実績

	決	算	期	基準	価	額	債 券 組入比率	債 券 先 物 比 率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・ トラスト(ケイマン) Ⅱ - USリート・	純総	資 産額
				(分配落)	税込み 分配金	期 中騰落率		72 17 12	プレミアムファンド (通貨プレミアム・ クラス)組入比率	,,	
				円	円	%	%	%	%		百万円
第	71期		₹8月20日)	3, 750	80	0.8		_	98.6		4, 122
13	72期		₹9月20日)	3, 688	80	0.5		_	98.0		4, 034
作	73期		₹10月22日)	3, 477	80	△ 3.6	_	_	98. 1		3, 864
成	74期	(2018年	F11月20日)	3, 499	80	2.9		_	98. 0		3, 889
期	75期	(2018年	F12月20日)	3, 340	50	△ 3.1		_	97. 7		3, 716
	76期	(2019年	₹1月21日)	3, 320	50	0.9	_	_	98. 5		3, 629
第	77期	(2019年	₹2月20日)	3, 355	50	2.6	_	_	98. 3		3,601
14	78期	(2019年	月20日)	3, 342	50	1. 1	l	_	97. 9		3, 659
作	79期	(2019年	₣4月22日)	3, 327	50	1.0	1	_	97. 6		3, 773
	80期	(2019年	₹5月20日)	3, 310	50	1.0	_	_	98.0		3, 788
成	81期	(2019年	€6月20日)	3, 273	50	0.4	_	_	97.6		4,002
期	82期	(2019年	€7月22日)	3, 170	50	△ 1.6	_	_	97.6		4, 228
第	83期	(2019年	₹8月20日)	3, 220	50	3. 2	_	-	97.9		4, 995
15	84期	(2019年	₹9月20日)	3, 247	50	2.4	_	-	98.0		5, 850
1	85期	(2019年	₹10月21日)	3, 276	50	2.4	_	-	97.8		7, 582
作	86期	(2019年	₹11月20日)	3, 224	50	△ 0.1	_	-	97.6		9, 508
成	87期	(2019年	F12月20日)	3, 167	50	△ 0.2	_	_	97.8		12, 441
期	88期	(2020年	₹1月20日)	3, 207	50	2.8	_	-	97.6		13, 684
第	89期	(2020年	₹2月20日)	3, 188	50	1.0	_	_	97. 9		15, 471
16	90期	(2020年	₹3月23日)	2,052	50	△34. 1	_	_	97. 9		10, 976
1 1	91期	(2020年	₣4月20日)	2, 253	50	12. 2	_	_	98.0		12, 318
作	92期	(2020年	₣5月20日)	2, 147	50	△ 2.5	_	_	98. 1		11, 968
成	93期	(2020年	₣6月22日)	2, 218	50	5. 6	_	_	98.0		12, 632
期	94期	(2020年	€7月20日)	2, 193	50	1. 1	-	_	97. 6		12,620
第	95期	(2020年	₹8月20日)	2, 182	50	1.8	_	_	98. 3		12, 562
1 1	96期	(2020年	€9月23日)	2, 145	50	0.6	_	_	98.0		12, 393
17	97期	(2020年	₹10月20日)	2, 140	50	2. 1	_	_	98. 9		12, 118
作	98期	(2020年	E11月20日)	2, 190	50	4. 7	_	_	98. 4		12, 038
成	99期	(2020年	₹12月21日)	2, 170	35	0. 7	_	_	98.3		11, 563
期	100期		€1月20日)	2, 159	35	1. 1	_	_	98.3		10, 929

⁽注) 基準価額および分配金は1万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

⁽注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

⁽注) 先物比率=買建比率-売建比率

⁽注) 当ファンドは米国リートとオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期中の基準価額等の推移

決算期		4	年,	月 日	基	準	価	額落率	債 券 組入比率	債 券 先物比率	クレディ・スイス・ ユニバーサル・ トラスト(ケイマン) Ⅱ - USリート・ ブレミアムファンド (通貨プレミアム・ クラス)組入比率
	期		(前期末)	2020年7月20日		円 2, 193		%	%	%	% 97. 6
第95期	791		(HI)791/N/	7月末		2, 133		1. 9	_	_	98. 1
7,100791	1	期	末	2020年8月20日		2, 232		1. 8	_	_	98. 3
	期	首	(前期末)	2020年8月20日		2, 182			_	_	98. 3
第96期				8月末		2, 241		2. 7	_	_	98.3
	ţ	朔	末	2020年9月23日		2, 195		0.6	_	_	98.0
	期	首	(前期末)	2020年9月23日		2, 145		_	_	_	98. 0
第97期				9月末		2, 152		0.3	_	_	98. 3
	į	朔	末	2020年10月20日		2, 190		2. 1	_	_	98. 9
	期	首	(前期末)	2020年10月20日		2, 140		_	_	_	98. 9
第98期				10月末		2,072		$\triangle 3.2$	_	_	97. 9
	ţ	朔	末	2020年11月20日		2, 240		4. 7	_	_	98. 4
	期	首	(前期末)	2020年11月20日		2, 190			_	_	98.4
第99期				11月末		2, 197		0.3	_	_	98. 1
	ţ	期	末	2020年12月21日		2, 205		0.7	_	_	98. 3
	期	首	(前期末)	2020年12月21日		2, 170		_	_	_	98. 3
第100期				12月末		2, 187		0.8	_	_	98. 2
	ţ	朔	末	2021年1月20日		2, 194		1. 1	_	_	98. 3

⁽注) 基準価額は1万口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は期首比。

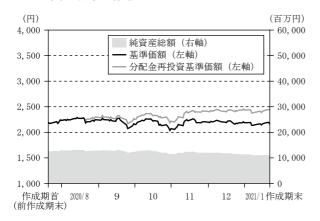
⁽注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

⁽注) 先物比率=買建比率-売建比率

⁽注) 当ファンドは米国リートとオプション取引を組合わせた運用を行っており、比較対象として適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当作成期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



第95期首:2,193円

第100期末:2,159円(既払分配金270円)騰落率:11.4%(分配金再投資ベース)

- (注)分配金再投資基準価額は、作成期首(2020年7月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注)分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に 再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の 実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用の コースにより異なります。また、ファンドの購入価額により 課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を 示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-USリート・プレミアムファンド(通貨プレミアム・クラス)」において、主に米国リート価格の上昇がプラス寄与した結果、基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。

■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) Ⅱ- USリート・プレミアムファンド (通貨プレミアム・クラス)	12. 4%
T&Dマネープールマザーファンド	△ 0.0

■ 投資環境

【米国リート市場】

米国リート市場は上昇しました。2020年7月下旬は、金融緩和の長期にわたる継続が示唆されたことを背景に、米国リート市場は上昇しました。8月からは、FRB(米連邦準備制度理事会)の金融緩和に対する姿勢への思惑に米長期金利が左右され、米国リート市場は上下する展開となりました。9月半ば以降は、英国で新型コロナウイルスの感染再拡大による都市封鎖の可能性が高まったこと、米中関係の悪化によって、一時下落に転じた後、米追加経済対策協議の進展期待から米国リート市場は上昇しました。10月中旬からは、欧米を中心とした新型コロナウイルスの感染再拡大によって各地で経済活動の規制が再強化され、米国リート市場は大幅に下落しましたが、その後は、ワクチンへの期待、追加経済対策への期待から、大幅な上昇に転じました。11月半ば以降は、米国の新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず、米国リート市場は緩やかな下落傾向となりました。2021年1月中旬には、金融緩和の長期化が再表明され、米国リート市場は上昇しました。

【為替動向】

米ドルは対円で下落しました。2020年7月末にかけては、米国の新型コロナウイルスの感染再拡大によって、複数の州で経済活動が再び制限されたことや、金融緩和の長期にわたる継続が示唆されたことを背景に、米ドルは対円で下落しました。8月以降は、FRBの金融緩和に対する姿勢への思惑に左右され、上下する展開となりました。9月中旬から11月上旬は、欧米を中心とした同ウイルスの感染再拡大や、米国の追加経済対策成立の遅れによる経済停滞への懸念が高まり、米ドルは対円で下落しました。11月中旬には、同ウイルス向けワクチンへの期待から、米ドルは対円で一時急騰しましたが、以降は、米国にて同ウイルスの感染拡大に歯止めがかからないこと、金融緩和の長期化観測を材料に、米ドルは対円で下落基調となりました。2021年1月上旬からは、財政支出拡大に伴う国債増発を見込んだ米長期金利の上昇を受け、米ドルは対円で上昇しました。

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、作成期首△0.09%に対し、作成期末も△0.09%となりました。 作成期中においては、国庫短期証券の発行増加に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日 銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

作成期を通じて、「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) $\Pi - US$ リート・プレミアムファンド(通貨プレミアム・クラス)」を高位に組入れ、「T & D マネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-USリート・プレミアムファンド(通貨プレミアム・クラス)】

主としてクレディ・スイス・インターナショナルを相手方とする担保付スワップ取引を高位に組入れ、当該取引を通じて実質的に、iシェアーズ 米国不動産ETFと米国リート・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果の享受を目指す運用を行いました。

【T&Dマネープールマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、作成期を通じて組入比率は 0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

*iShares®(iシェアーズ®)はブラックロックの登録商標です。ブラックロックは「米国リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通 貨プレミアム・コース」について出資、発行、保証、販売および販売の促進をするものではありません。またブラックロックは、「米国 リート・プレミアムファンド(毎月分配型)通貨プレミアム・コース」への投資についてなんら意見を表明、あるいは保証するものでは なく、ファンドにかかる業務、営業、トレーディングおよび販売に関して、一切責任を負うものではありません。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1万口当たりの分配金(税込み)は分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第95期から第98期までは各50円、第99期から第100期までは各35円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ-USリート・プレミアムファンド(通貨プレミアム・クラス)」の組入比率を高位に保ち、もう一方の投資対象である「T&Dマネープールマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン) Ⅱ-USリート・プレミアムファンド(通貨プレミアム・クラス)】

担保付スワップ取引を通じて、実質的にiシェアーズ 米国不動産ETFへの投資と米国リートのコールオプションの売却を行い、安定した配当収入の確保と値上がり益の獲得を目指します。加えて、当クラスでは比較的短期の米ドル・円のコールオプションの売却も行い、為替オプション取引の投資成果を享受することを目指します。

【T&Dマネープールマザーファンド】

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続く とみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落な どの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融 緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細(2020年7月21日から2021年1月20日まで)

費用の明細

	第95期~	-第100期				
項目	2020/7/21~	~2021/1/20	項目の概要			
	金額	比率				
平均基準価額	2,180円		作成期間の平均基準価額です。			
(a) 信託報酬	15円	0.682%	(a)信託報酬=作成期間の平均基準価額×信託報酬率			
(投信会社)	(5)	(0. 222)	委託した資金の運用の対価			
(販売会社)	(10)	(0. 444)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理等の対価			
(受託会社)	(0)	(0.017)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価			
(b) 売買委託手数料	1	0.038	(b) 売買委託手数料=作成期間の売買委託手数料/作成期間の平均受益権口数			
(投資信託証券)	(1)	(0.038)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料			
(c) その他費用	0	0.008	(c)その他費用=作成期間のその他費用/作成期間の平均受益権口数			
(監査費用)	(0)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用			
合計	16	0.728				

(注) 作成期間の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

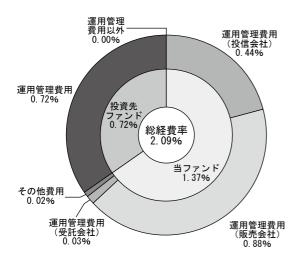
なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く。) が支払った費用を含みません。
- (注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、2.09%です。



総経費率 (①+②+③)	2.09%
①当ファンドの費用の比率	1.37%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.72%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法 により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および 有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注)投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券(親投資信託を除く)です。
- (注) ①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値 はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異 なります。

売買および取引の状況 (2020年7月21日から2021年1月20日まで)

(1) 投資信託証券

			角	第 95	期~	第	100 非	朝	
			買	,	付		売		付
		П	数	金	額	П	数	金	額
			П		千円				千円
外 国 (邦貨建)	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン)Ⅱ - U S リート・プレミアム ファンド(通貨プレミアム・クラス)		33, 734		71, 000		727, 155		1, 520, 421

⁽注)金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

当作成期における設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等(2020年7月21日から2021年1月20日まで)

当作成期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細(2021年1月20日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	前作成期末 (第94期末)	当 (第	作 成 期 100 期	末 末)
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
	П	П	千円	%
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) Ⅱ- USリート・プレミアムファンド (通貨プレミアム・クラス)	5, 808, 452	5, 115, 031	10, 747, 703	98. 3

- (注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。
- (注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種	種 類		成 期 末 1 期 末)	当 作 成 期 末 (第 100 期 末)				
			数	П	数	評	価	額
			千口		千口			千円
T&Dマネープ-	ールマザーファンド		57, 394		57, 394		58	3, 255

- (注) T&Dマネープールマザーファンド全体の受益権口数は424,074千口です。
- (注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成(2021年1月20日現在)

項	目		当 (第	作 成 100	期 期	末 末)
		評	価	額	比	率
				千円		%
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト USリート・プレミアムファンド (通貨プレ			10, 7	47, 703		96. 0
T&Dマネープールマザ	ーファンド		į	58, 255		0. 5
コール・ローン等、	その他		39	92, 494		3. 5
投 資 信 託 財 商	E 総 額		11, 19	98, 452		100.0

⁽注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年8月20日現在 2020年9月23日現在 2020年10月20日現在 2020年11月20日現在 2020年12月21日現在 2021年1月20日現在

	項目	第 95 期 末	第 96 期 末	第 97 期 末	第 98 期 末	第 99 期 末	第100期末
(A)	資 産	12, 865, 675, 316円	12, 719, 816, 254円	12, 500, 201, 570円	12, 356, 711, 664円	11,844,569,190円	11, 198, 452, 111円
	コール・ローン等	458, 304, 923	511, 903, 862	456, 664, 717	450, 568, 508	418, 150, 472	392, 493, 667
	クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト						
	(ケイマン) Ⅱ – U S リート・プレミアム	12, 349, 097, 867	12, 149, 645, 606	11, 985, 270, 067	11, 847, 882, 109	11, 368, 157, 671	10, 747, 703, 137
	ファンド (通貨プレミアム・クラス) (評価額)						
	T&Dマネープールマザーファンド(評価額)	58, 272, 526	58, 266, 786	58, 266, 786	58, 261, 047	58, 261, 047	58, 255, 307
(B)	負 債	303, 275, 454	326, 256, 052	381, 850, 905	318, 382, 984	280, 954, 418	268, 898, 102
	未 払 収 益 分 配 金	287, 839, 637	288, 889, 773	283, 123, 471	274, 814, 839	186, 537, 405	177, 166, 659
	未 払 解 約 金	482, 675	20, 938, 033	85, 975, 818	29, 616, 161	80, 514, 095	79, 087, 610
	未 払 信 託 報 酬	14, 784, 075	16, 242, 425	12, 607, 336	13, 794, 201	13, 745, 737	12, 500, 914
	未 払 利 息	804	958	790	789	736	642
	その他未払費用	168, 263	184, 863	143, 490	156, 994	156, 445	142, 277
(C)	純 資 産 総 額(A-B)	12, 562, 399, 862	12, 393, 560, 202	12, 118, 350, 665	12, 038, 328, 680	11, 563, 614, 772	10, 929, 554, 009
	元本	57, 567, 927, 548	57, 777, 954, 707	56, 624, 694, 284	54, 962, 967, 956	53, 296, 401, 605	50, 619, 045, 636
l	次期繰越損益金	△45, 005, 527, 686	△45, 384, 394, 505	△44, 506, 343, 619	△42, 924, 639, 276	△41, 732, 786, 833	△39, 689, 491, 627
(D)	受 益 権 総 口 数	57, 567, 927, 548 	57, 777, 954, 707 🗖	56, 624, 694, 284 🗖	54, 962, 967, 956 C	53, 296, 401, 605 C	50, 619, 045, 636 C
	1万口当たり基準価額(C/D)	2, 182円	2,145円	2, 140円	2, 190円	2,170円	2, 159円

- (注) 当ファンドの第95期首元本額は57,560,264,483円、第95~100期中追加設定元本額は1,835,035,365円、第95~100期中一部解約元本額は8,776,254,212円です。
- (注) 元本の欠損

第100期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は39,689,491,627円です。

(注) 第100期末の1口当たり純資産額は0.2159円です。

損益の状況

自2020年7月21日 自2020年8月21日 自2020年9月24日 自2020年10月21日 自2020年11月21日 自2020年12月22日 至2020年8月20日 至2020年9月23日 至2020年10月20日 至2020年11月20日 至2020年12月21日 至2021年1月20日

項 目	第 95 期	第 96 期	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期
(A)配 当 等 収 益	288, 574, 926円	288, 112, 653円	287, 585, 437円	278, 124, 087円	189, 950, 759円	180, 587, 825円
受 取 配 当 金	288, 590, 079	288, 129, 065	287, 597, 083	278, 135, 478	189, 964, 298	180, 597, 978
支 払 利 息	△ 15, 153	△ 16,412	△ 11,646	△ 11,391	△ 13,539	△ 10, 153
(B) 有価証券売買損益	△ 46, 444, 314	△ 200, 116, 837	△ 20, 714, 079	286, 530, 923	△ 99, 818, 144	△ 43, 848, 792
売 買 益	158, 839	24, 243	4, 197, 622	295, 552, 865	1, 160, 600	5, 531, 858
一 売 買 損	△ 46, 603, 153	△ 200, 141, 080	△ 24,911,701	△ 9,021,942	△ 100, 978, 744	△ 49, 380, 650
(C) 信託報酬等	△ 14, 952, 338	△ 16, 427, 288	△ 12, 750, 826	△ 13, 951, 195	△ 13, 902, 182	△ 12, 643, 191
(D) 当期損益金(A+B+C)	227, 178, 274	71, 568, 528	254, 120, 532	550, 703, 815	76, 230, 433	124, 095, 842
(E) 前期繰越損益金	△ 8. 625. 070. 107	△ 8, 625, 595, 891	△ 8, 600, 347, 993	△ 8. 347. 500. 064	△ 7, 783, 618, 768	△ 7, 464, 218, 159
(F) 追加信託差損益金	△36, 319, 796, 216	△36, 541, 477, 369	△35, 876, 992, 687	△34, 853, 028, 188	△33, 838, 861, 093	△32, 172, 202, 651
	(6, 863, 547, 966)	(6, 875, 898, 122)		(6, 517, 072, 314)	(6, 316, 677, 541)	
(12 - 3 12 - 20	. , , , ,		(6, 722, 306, 684)			(5, 989, 568, 561)
()	(△43, 183, 344, 182)	(△43, 417, 375, 491)	(△42, 599, 299, 371)	(△41, 370, 100, 502)	(△40, 155, 538, 634)	(△38, 161, 771, 212)
(G) 合 計(D+E+F)	△44, 717, 688, 049	△45, 095, 504, 732	△44, 223, 220, 148	△42, 649, 824, 437	△41, 546, 249, 428	△39, 512, 324, 968
(H) 収 益 分 配 金	△ 287, 839, 637	△ 288, 889, 773	△ 283, 123, 471	△ 274, 814, 839	△ 186, 537, 405	△ 177, 166, 659
次期繰越損益金(G+H)	△45, 005, 527, 686	△45, 384, 394, 505	△44, 506, 343, 619	△42, 924, 639, 276	△41, 732, 786, 833	△39, 689, 491, 627
追加信託差損益金	△36, 334, 013, 265	△36, 558, 681, 777	△35, 885, 281, 547	△34, 856, 591, 299	△33, 849, 349, 921	△32, 181, 424, 676
(配 当 等 相 当 額)	(6, 849, 330, 917)	(6, 858, 693, 714)	(6, 714, 017, 824)	(6, 513, 509, 203)	(6, 306, 188, 713)	(5, 980, 346, 536)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△43, 183, 344, 182)	$(\triangle 43, 417, 375, 491)$	$(\triangle 42, 599, 299, 371)$	$(\triangle 41, 370, 100, 502)$	$(\triangle 40, 155, 538, 634)$	(△38, 161, 771, 212)
繰越損益金	△ 8, 671, 514, 421	△ 8, 825, 712, 728	△ 8, 621, 062, 072	△ 8, 068, 047, 977	△ 7, 883, 436, 912	△ 7, 508, 066, 951

- (注) 損益の状況の中で
 - (B) 有価証券売買損益は、各期末の評価換えによるものを含みます。
 - (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 - (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金の計算過程

「第95期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益(273,622,588円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)および収益調整金(6,863,547,966円)より、分配対象収益は7,137,170,554円(1万口当たり1,239円)であり、うち287,839,637円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

「第96期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益(271,685,365円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)および収益調整金(6,875,898,122円)より、分配対象収益は7,147,583,487円(1万口当たり1,237円)であり、うち288,889,773円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

[第97期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益(274,834,611円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)および収益調整金(6,722,306,684円)より、分配対象収益は6,997,141,295円(1万口当たり1,235円)であり、うち283,123,471円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

[第98期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益(271,251,728円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)および収益調整金(6,517,072,314円)より、分配対象収益は6,788,324,042円(1万口当たり1,235円)であり、うち274,814,839円(1万口当たり50円)を分配金額としております。

「第99期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益(176,048,577円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)および収益調整金(6,316,677,541円)より、分配対象収益は6,492,726,118円(1万口当たり1,218円)であり、うち186,537,405円(1万口当たり35円)を分配金額としております。

[第100期]

計算期間末における費用控除後の配当等収益(167,944,634円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)および収益調整金(5,989,568,561円)より、分配対象収益は6,157,513,195円(1万口当たり1,216円)であり、うち177,166,659円(1万口当たり35円)を分配金額としております。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳

(単位:円・%、1万口当たり・税引前)

	第95期	第96期	第97期	第98期	第99期	第100期
項目	2020年7月21日	2020年8月21日	2020年9月24日	2020年10月21日	2020年11月21日	2020年12月22日
	~2020年8月20日	~2020年9月23日	~2020年10月20日	~2020年11月20日	~2020年12月21日	~2021年1月20日
当期分配金	50	50	50	50	35	35
(対基準価額比率)	2. 240	2. 278	2. 283	2. 232	1. 587	1. 595
当期の収益	47	47	48	49	33	33
当期の収益以外	2	2	1	0	1	1
翌期繰越分配対象額	1, 189	1, 187	1, 185	1, 185	1, 183	1, 181

- (注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

※元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

補足情報

T&Dマネープールマザーファンドの主要な売買銘柄

当作成期における売買はありません。

T&Dマネープールマザーファンドの組入資産の明細

当作成期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト(ケイマン)Ⅱ - U S リート・プレミアムファンド (円ヘッジ・クラス) / (通貨プレミアム・クラス)

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分類	ケイマン籍/外国投資信託/円建
基本運用方針	(円へッジ・クラス) 主として担保付スワップ取引を投資対象とし、当該取引を通じて、実質的に、iシェアーズ 米国不動産ETFと米国リート・オプション取引の投資成果と、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行った投資成果の享受を目指します。
	(通貨プレミアム・クラス) 主として担保付スワップ取引を投資対象とし、当該取引を通じて、実質的に、iシェアーズ 米国不動産ETFと米国リート・オプション取引に加えて、為替オプション取引の投資成果と、安定した配当収入の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して運用を行います。
	(円ヘッジ・クラス) ①実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行った投資成果の享受を目指します。 ②原則として、米国リート・オプション取引の実質的な想定元本は、おおむね純資産相当額程度で行うものとします。
投資態度	(通貨プレミアム・クラス) ①実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ②原則として、米国リート・オプション取引ならびに為替オプション取引の各々の実質的な想定元本は、それぞれおおむね純資産相当額程度で行うものとします。
	※資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	①店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。
分 配 方 針	原則として、毎月分配を行います。
投資顧問会社	クレディ・スイス・マネジメント (ケイマン) リミテッド

- ※次ページ以降の記載は、組入投資信託証券の関係会社より入手した情報をもとに作成しております。当社は、その内容の 正確性・完全性を保証するものではありません。
 - (1)(2):バンクオブニューヨークメロン証券株式会社より入手した監査済報告書を、当社が一部和訳したものです。
 - (3): ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン (シンガポール支店) より入手したデータをもとに作成したものです。

(1) 各クラスの状況

作成基準日: 2020年1月31日

	受益権総口数
円ヘッジ・クラス	180, 416口
通貨プレミアム・クラス	4, 515, 596
合計	4, 696, 012□

(注) 日付は現地基準です。

(2) 損益計算書

計算期間: 2019年2月1日~2020年1月31日

単位:円

収	益
---	---

手数料収入	1, 220, 853, 093
担保付スワップ取引に係る純損益	(211, 573, 597)
投資純損益	1, 009, 279, 496

48, 576, 432
48, 576, 432
960, 703, 064
(1, 172, 276, 661)

分配後の期中の純資産変動

(211, 573, 597)

(注) 日付は現地基準です。 (注) () 書きは負数です。

(3)組入資産の明細

作成基準日: 2020年1月31日

担保付スワップ

単位:円

想定元本額	評価額
1, 804, 162, 855	706, 508, 370
45, 155, 955, 718	13, 911, 917, 774
合計	14, 618, 426, 144

(注) 日付は現地基準です。

T&Dマネープールマザーファンド

運用報告書(全体版) 第32期(決算日 2020年12月10日)(計算期間 2020年6月11日から2020年12月10日)

「T&Dマネープールマザーファンド」は、2020年12月10日に第32期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

油 答		<u> </u>	- Herr	基	準	価	額		債			券	倩			券	14 /hz = +r 144 hrt
l 7	決 算		期			期騰	落	中率		入	比	券率	債先	物	比	券率	純資産総額
					円			%				%				%	百万円
28期	(2018年	三12月	月10日)	10, 1	.65		$\triangle 0$.	0			_	-			_	-	701
29期	(2019年	三6月	月10日)	10, 1	.61		$\triangle 0$.	0			_	-			_	-	652
30期	(2019年	三12月	10日)	10, 1	.58		$\triangle 0$.	0			_	-			_	-	733
31期	(2020年	三6月	10日)	10, 1	.54		$\triangle 0$.	0			_	-			_	-	575
32期	(2020年	三12月	10日)	10, 1	.51		$\triangle 0$.	0			_	-			_	=	430

- (注) 基準価額は1万口当たり。
- (注) 先物比率=買建比率-売建比率
- (注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

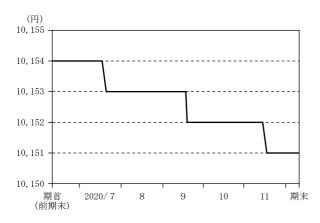
当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基準	価 額	債券組入比率	債券先物比率	
<u>+</u> 7 7		騰落率	俱夯組八几平	頂牙兀物比学	
期首(前期末)	円	%	%	%	
2020年6月10日	10, 154	_	_	_	
6月末	10, 154	0.0	_	_	
7月末	10, 153	△0.0	_	_	
8月末	10, 153	△0.0	_	_	
9月末	10, 152	△0.0	_	_	
10月末	10, 152	△0.0	_	_	
11月末	10, 151	△0.0	_	_	
期末					
2020年12月10日	10, 151	△0.0	_	_	

- (注) 基準価額は1万口当たり。騰落率は期首比。
- (注) 先物比率=買建比率-売建比率
- (注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,154円から期末は10,151円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことから下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市况】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初の△0.11%から期末は△0.09%となりました。期中においては、国庫短期証券の発行増加に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、日銀の買入オペや担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、当面、国内外における新型コロナウイルスの感染拡大の影響から厳しい状態が続く とみられます。また、インフレ率についても、新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格の下落な どの影響を受けて弱含むとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融 緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細(2020年6月11日から2020年12月10日まで)

当期において発生した費用はありません。

売買および取引の状況 (2020年6月11日から2020年12月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等(2020年6月11日から2020年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細(2020年12月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成(2020年12月10日現在)

項				目				当	期		末		
	快						評	価	額	比	率		
											千円		%
コ	ール	•	口一	ン等	Ē,	そ	\mathcal{O}	他		43	30, 478		100.0
投	資	信	託	財	産	総	Š	額		43	30, 478		100.0

⁽注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月10日現在

	項	Ĩ				目		当	期	末
(A)	資						産		430, 478	8,944円
	コ	_	ル	• 1	-	- ン	等		430, 478	8, 944
(B)	負						債			754
	未		払		利		息			754
(C)	純	資	産	総	額(A —	B)		430, 478	3, 190
	元						本		424, 07	1, 260
	次	期	繰	越	損	益	金		6, 406	6, 930
(D)	受	益	梢	重	総		数		424, 07	1,260□
	17	504	たり	基準		10	0, 151円			

(注) 期首元本額 期中追加設定元本額 期中一部解約元本額

- 567, 176, 513円 146, 705, 805円
- (注) 1 口当たり純資産額は1.0151円です。
- (注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳 T&Dインド中小型株ファンド 米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 円ヘッジ・コース 米国リート・プレミアムファンド (毎月分配型) 通貨プレミアム・コース 米国リート・プレミアムファンド (年2回決算型) マネープール・コース 豪州高配当株ツイン α ファンド (毎月分配型) 野村エマージング債券投信 (円コース) 毎月分配型 野村エマージング債券投信(円コース)年2回決算型 野村エマージング債券投信 (米ドルコース) 毎月分配型 野村エマージング債券投信(米ドルコース)年2回決算型 野村エマージング債券投信(豪ドルコース)毎月分配型 野村エマージング債券投信(豪ドルコース)年2回決算型 野村エマージング債券投信(ブラジルレアルコース)毎月分配型 野村エマージング債券投信(ブラジルレアルコース)年2回決算型 野村エマージング債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型 野村エマージング債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型 野村エマージング債券投信(カナダドルコース)毎月分配型 野村エマージング債券投信(カナダドルコース)年2回決算型 野村エマージング債券投信 (メキシコペソコース) 毎月分配型 野村エマージング債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型 野村エマージング債券投信 (トルコリラコース) 毎月分配型 野村エマージング債券投信(トルコリラコース)年2回決算型 野村エマージング債券投信(金コース)毎月分配型 野村エマージング債券投信(金コース)年2回決算型 野村エマージング債券投信(マネープールファンド)年2回決算型

3,600,552円

69,040,591円

1,653,709円

57, 394, 392円

13,070,055円

15, 203, 451円

4,690,232円

6,884,550円

1,424,313円

13, 394, 468円

124, 252, 174円

1,651,239円

7,765,966円

1,413,489円

1,038,862円

43,012,339円

7,932,323円

33, 235, 413円

4,042,047円

10,580,958円

5,829,793円

180, 189円

131,726円

160,506円

88,475円

損益の状況

当期 自2020年6月11日 至2020年12月10日

項				目		៕		期
(A)	配	当	等	収	益		Δ	150,875円
	支	払		利	息		\triangle	150, 875
(B)	当	期	員 益	金	(A)		Δ	150, 875
(C)	前	期繰	越	損 益	金		8	, 746, 552
(D)	追	加信	託 差	損益	金盆			55, 448
(E)	解	約 ء	負担	益	金		△2	, 244, 195
(F)	合	計(E	3 + C	+ D -	⊦E)		6	, 406, 930
	次	期繰走	返 損	益 金	(F)		6	, 406, 930

- (注) 損益の状況の中で
 - (D) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追 加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 - (E)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約 価額を差引いた差額分をいいます。